

身体的拘束最小化について

当院では、患者さんの尊厳と権利を尊重するため、身体的拘束の最小化に取り組んでいます。

【基本方針】

- 原則として身体的拘束は行いません。患者さんの安全確保のためにやむを得ない場合に限り、最小限で実施します。
- 職員一人ひとりが身体的拘束最小化に向けた意識を持ったうえで患者さんの入院生活を支援していくことに努めます。
- 身体的拘束を行う必要性を生じさせないための日常ケアに病院全体で取り組みます。

【具体的な取組み】

- 個々の患者さんの生活リズムを整え、安全な療養環境の調整。
- 多職種で、身体的拘束を行わずにケアを行う方法や代替え策について検討。
- 身体的拘束を行わずにケアするための用具を積極的に導入。
- 身体的拘束最小化チームによる院内ラウンド。
- 年2回の全体研修と現場教育の実施。

【身体的拘束実施割合】

